

竹村ほまれ 後援会だより

2012/4/22 No004

後援会責任者 林高文 83-0341

竹村ほまれ連絡先 Fax: 81-4371

携帯: 090-6545-2254

HP: <http://homare.ina-ka.com/>

ブログ: [竹村ほまれ](#) と入力し検索を



震災から一年

大震災から一年、被災地の復興を願って、伊那市役所くべルシヤインまでデモ行進をしました。
3.11脱原発上伊那集会)
当日は好天に恵まれ、乳母車に乗せられた赤ちゃんからお爺ちゃんお婆ちゃんまで、約3000人が元気に歩きました。

一年を振り返って

今年は何時まで寒く、また嵐が何度も到来するなど異常気象が続く春先でしたが、やっと暖かい、過ごしやすい季節を迎えました。

昨年の4月に市議会に送っていただき、はやいもので一年を経過しました。
一年前の選挙で皆さまに訴えてきた公約が実を結んだものもあれば、引き続き実現に向けて奮闘しているもの、又、新たに提案している課題もあります。

不段一般質問

私は、今後も市民の目線に立ち、皆さまの「意見を伺う中で、今、何が求められているのかを常に自問しながら行動し、議員活動をしていく所存です。引き続き皆さまの温かい励ましと「ご鞭撻を頂きますようお願い申し上げます。



歩いて諏訪湖一周に挑戦しました

☆23年度「ほまれ」が 取り上げた課題・内容

☆6月議会

○地域防災計画の見直し

見直しの要点、進捗状況と備蓄資材は十分な準備を。放射能に対応した防災計画への見直しと、放射線測定器の購入を急ぐべきだ。

浜岡原発停止に伴う駒ヶ根市への影響は「か」。

上下水道の非常電源や貯水量の確保は大丈夫か。

○子ども医療費無料化拡大を

他の市町村より遅れている、子ども医療費無料化の拡大を積極的に進めるべき。

○安定雇用の創出を

図るべきだがどう考えるか

市独自の雇用創出施策を。

☆9月議会

○リニア中央新幹線建設の

基本的立場は

財政面や安全性を考慮して慎重に対応すべきだが市長の考えは。

リニアは多額の費用や莫大な電気を消費して進める事業だが地域経済社会に与える影響をどう考えるか。

東海地震の震源域であるが安全性や南アルプスの環境保全をどう考えるか。

○子ども医療費無料化を進めよ

六月議会で年次的に無料化を拡大すると答弁したが、具体的展望は。

○住宅リフォーム助成制度の

拡大を図るべきだ

☆12月議会

○TPP（環太平洋連携協定）

の駒ヶ根市の対応は

日本の国土や歴史的な条件の違いを無視してTPPに参加すべきでないと考えながら、

市長の基本的立場の表明を。駒ヶ根市が被る影響は。

付加価値の高い作物の生産と生活が成り立つ政策を創造し支援を進めるべきだが、当市の農業の活路をどう考えるか。

○地域防災対応の取り組み

災害が実際に発生した時、自助・共助の対応をどうすべきか等、市民の不安の声が聞かれるが、自主防災推進活動の状況は。土砂災害特別警戒区域に指定された世帯へのきめ細やかな情報提供や相談対応を図るべきだが支援策は。

6月議会で要求した放射線測定器が配備されたが、活用状況と計画の具体化は。

子どもが通う学校給食の放射能測定をより強めるべきだ。

○循環型社会を目指した

駒ヶ根市の取り組みは

地球にやさしいまちづくり計画のもと、循環型社会を目指した自然エネルギー資源の活用状況は。

既存のインフラを活かした、中沢の 新宮川発電所「再建」の検討を進めるべきだ。

☆3月議会

↓裏面に詳細を記載



3月議会の一般質問

☆市内企業倒産の対応

質問 今年に入ってから地域を支えてきた3件の企業倒産伊南電気万越ダイワオーシャンが発生している。当市として実体を掴んでいるか。どのように対応するのか。

資金繰りの悪化・

受注の低迷が要因

市長 弁護士のもとで進められているので詳細は把握していない。関係機関と連携を図る中で、実効性の高い経済雇用施策を図っていきたい。

☆対策窓口の設置は

質問 解雇された労働者の救済再就職支援として緊急雇用対策窓口を設置して対応を図るべきではないか。

再就職できるよう

環境を整えていきたい

市長 独自の相談窓口を市として開設していないが、側面支援として追加雇用の状況調査を実施してその上、情報提供をしていく。

※ほまれ 多数の解雇者が出た状況なので、独自の窓口を設け支援するよう要望する。

☆介護保険料引き上げ

質問 現在公費負担が引き下げられることで、給付費の増加は保険料引き上げに直結する。保険料引き上げを我慢するか、介護サービスを我慢するか、介護サービスの我慢するかの選択を常に迫られている、保険制度の実体をどう見るか。

制度の大幅な見直し

が必要

市長 国庫の拡充や負担割合の見直しなど、制度そのものの変更が必要だと認識している。国等への働き掛けは市長会を通して積極的に行う。

☆介護保険料の

軽減処置を

質問 65歳以上の介護保険料基準月額が1116円も引き上げられ5190円となる方針を示されたが、近隣市町村と比較しても高い保険料の市民負担を抑えるため、一般会計からの繰り入れで保険料の軽減措置の検討をすべきではないか。

一般財源からの

繰り入れは行わない

市長 一般財源を繰り入れた場合、財政安定化基金交付金が受けられないと国の指導がされている。将来の介護費用が増加しないよう介護予防や健康づくりに積極的に取り組んでいく。

※ほまれ 介護保険は自治事務であり、国の指導は助言に過ぎない訳であるので、国の不当な介入を跳ね返して、保険料の負担軽減、減免制度の充実を図るべきです。

☆大田切ランニングコースの構想は

質問 構想実現にあたっては、利用者の安全が図られ、且つ既存の天竜川堤防道路を活用して計画されるべきだが。

国と連携をとる中で

整備していきたい

教育長 大田切下流から丸塚公園までの4kmを、河川管理者である国と連携をとる中で整備し二つの橋をアンダーパス道路で通すことも考えている。

☆天竜川流域を拠点としたイベント構想を

質問 駒ヶ根市の今後の活性化も考え河川流域を活用したイベント開催や親水公園や河童ひろば、前河原堤防までを含めた河川流域構想を。

施設の有効活用を検討する

市長 交流人口を増やすことで活性化に繋がっていききたい思いもある。今ある施設の有効活用を図る中の一つの提案として受け止める。

※ほまれ 何よりも自慢できる一つの雄大なアルプスの眺望と、広々とした天竜河畔に流れる清流を活性化の目玉に。

